令和８年度前期　オホーツク支部活動報告

１　【７月】体力向上推進夏季研修講座

北見市内の幼保、小、中学校教員を対象に、「子供が夢中になる学びに向けて～あれ？みんながどんどん動き出すサマー2026～」をテーマに研修会を実施した（参加者 46 名）。勝手に体を動かしたくなる校内環境の仕掛けや、子供が夢中になる学びに向けた「声掛け」「場の工夫」「補助」など、指導をするための手がかりを紹介、実践交流した。１月にも冬季研修講座（走力をテーマに）を実施予定。



２　【８月】オホーツク夏の教育セミナー

オホーツク教育局が網走地方教育研修センター、管内教育研究団体連絡協議会と共催して実施。オホーツク学体研は体育部会のコマを担当。新しい時代に必要となる体育科における資質・能力の育成に向けた「個別最適な学び」の実現について、実践を Zoom で紹介・交流した。

３　【６月中学校編、９月小学校編】研修センター講座「楽しい体育」

毎年、本会員が講師として講座を開設。「楽しい体育」をテーマに、授業を公開→協議、実践交流や実技等を行い、指導力向上を図っている（参加者　中学校編 29 名・小学校編 20 名）。今年度は中学校編では、バレーボールの授業公開、共生の視点でのネット型実技体験を実施。小学校編は、走り高跳び・体力を高める運動の２本の授業公開、鉄棒やマット運動の実技や補助の仕方を交流・体験した。





４　予定【１１月２７日】オホーツク学校体育研究会公開研究会

北海道教育大学（旭川校）高瀬淳也教授を講師に迎え、遠軽町立南小学校・遠軽中学校を会場校として実施予定。（写真は R7 の公開研究会の様子　左：小学校「プレゼントポートボール」　右：中学校「バスケットボール」）



